

## 主題：神のエコノミーと分与

メッセージ 17

神の中心的な働きに応答しそれと協力して、  
彼の永遠の究極的な団体の表現となるという  
神聖なエコノミーの奇跡的正常性にしがった  
神聖な分与における通常の日々の生活

聖書：ローマ 8:2, 4, 6, 11. エペソ 3:16-21. 啓 21:10-11

- I. わたしたちはキリストにある信者として、神聖な三一の神聖な分与における定常的で正常な経験における通常の日々の生活に満足することを、学ぶ必要があります——ローマ 8:2, 6, 10-11. エペソ 3:16-17 前半：
- A. わたしたちは少しずつ、日ごとに神聖な分与を受け、ゆっくりと安定した方法でこの分与を何度も受ける必要があります——Ⅱコリント 13:14. マタイ 6:11. 詩 68:19：
1. わたしたちの中で一度で永遠に完成される霊的な事柄はほとんどありません。そうではなく、わたしたちの物質の生活のように、大部分の霊的な事柄は何度も繰り返されなければなりません——ヨハネ 6:57 後半. 4:14. Ⅰコリント 10:3-4.
  2. 神がわたしたちに与えるものは何であれ、一度で永遠に与えられて耐えられないものになるのではありません。そうではなく、神聖な供給は少しずつ与えられます。
- B. 手順を経て究極的に完成された三一の神は、壮観な方法ではなく通常の方法でわたしたちの内側にいます。こういうわけで、わたしたちは安定した正常なクリスチャン生活をする必要があります。特別でなくなればなくなるほど、わたしたちはますます正常になり、良くなります——コロサイ 1:27. 3:4. エペソ 3:16-17 前半。
- C. 三一の神が神聖な分与を通してわたしたちに与えるすべての命の事柄は、静かで落ち着いており、信者としてのわたしたちの生活も静かで落ち着いているべきです。日ごとにわたしたちはこのように生活し、ただ神聖な分与を受ける通常の生活をする必要があります——ローマ 8:6. Ⅰテサロニケ 5:23. Ⅱテサロニケ 3:16。
- D. わたしたちの運命は、神聖な三一の神聖な分与における通常的生活をすることです。なぜならわたしたちの御父は、わたしたちが彼の継続的な分与の下で通常の方法で生きることを定めたからです——マタイ 6:11, 32-34. 24:40-41。
- E. わたしたちは信者として、信仰によって神聖な三一の神聖な分与を経験します。神はわたしたちが彼に依り頼むことによって、彼を命とすることによって、彼にご自身をわたしたちの中へと分与していただくことによって、あらゆることを行なうことを願っています——エペソ 3:17 前半. ヘブル 11:1。
- F. このようにして、わたしたちは霊的に正常になり、わたしたちの霊性は定常的で正常になり、何の壮観さ也没有——ローマ 8:4, 6. ガラテヤ 5:22-23。
- II. 神聖な分与における通常の日々の生活は、神聖なエコノミーの奇跡的正常性にしがっています——Ⅰテモテ 1:4. エペソ 3:9：

- A. キリストの、その霊の、三一の神の、神聖な性質を伴う神聖な命の経験の経験は、完全に正常です—— 16-17 節前半。
- B. わたしたちの経験と享受のために神によって備えられたすべての霊的で神聖な事柄は、正常です。それにもかかわらず、これらの正常な事柄は奇跡的であり、こういうわけでわたしたちは、神聖なエコノミーの奇跡的正常性について語るができます—— I テモテ 1:4. エペソ 3:9。
- C. 再生は最大の奇跡ですが、それは正常な方法で起こります。ですから、再生は奇跡的である正常性、わたしたちのクリスチャン生活における奇跡的正常性です——ヨハネ 3:3, 5-6, 8. I ペテロ 1:23。
- D. 主の御名を呼び求めることは正常性ですが、わたしたちが呼ぶときは奇跡であり、わたしたちは手順を経て究極的に完成された三一の神の総合計を受け入れます——ローマ 10:12. ガラテヤ 3:2. エレミヤ 33:3。

**III. わたしたちは神聖なエコノミーの奇跡的正常性にしがった神聖な分与における通常の日々の生活をするに満足すればするほど、ますます神の中心的な働きに応答しそれと協力して、彼の永遠の究極的な団体の表現となります——エペソ 3:16-21 :**

- A. 神の新約エコノミーとは、手順を経て究極的に完成された三一の神がわたしたちの中へと造り込まれて、わたしたちの命また存在となり、彼を団体的に表現することです—— I テモテ 1:4. II コリント 13:14. エペソ 3:16-17 前半, 21. ローマ 8:9-10, 6, 11。
- B. 神の永遠の定められた御旨とは、ご自身を命またすべてとしてわたしたちの中へと造り込んで、わたしたちが彼をわたしたちのパーソンとし、彼を生き、彼を表現することです。これが神の心の願い、また聖書の中心点です——エペソ 1:9. 3:11. ペリピ 1:20-21 前半。
- C. わたしたちがみな見る必要があるのは、神の願いとはご自身をわたしたちの中へと造り込んで、わたしたちをご自身で再構成し、わたしたちが彼の永遠の究極的に完成された団体の表現となることであるということです—— II コリント 5:17, 21. 啓 21:10-11。
- D. 神のエコノミーは一つの事を中心としています。それは神の中心的な働き、神の唯一の働きです——ヨハネ 5:17. 4:34. ペリピ 1:6. 2:13. I コリント 15:58. 16:10 :
  - 1. 宇宙におけるすべての時代と世代を通しての神の中心的な働きは、ご自身をキリストの中で彼の選びの民の中へと造り込み、ご自身を彼らと一にすることです——ガラテヤ 4:19. エペソ 3:17 前半。
  - 2. 神の定められた御旨は、ご自身をわたしたちの中へと造り込んでわたしたちの命またパーソンとなり、ご自身をわたしたちの内なる要素として彼を表現することです :
    - a. この定められた御旨は宇宙の中心であり、この中心から離れてクリスチャン生活に意義はありません——啓 4:11。
    - b. このようにして彼はわたしたちと一になり、わたしたちは彼と一になります。そして彼がわたしたちの中に生きるとき、わたしたちは彼を生き、団体的に彼を表現します——ヨハネ 14:19 後半. ガラテヤ 2:20. ペリピ 1:21 前半。
    - c. わたしたちは神聖なエコノミーの奇跡的正常性にしがって神聖な分与の中で

通常の日々の生活をするとき、神の中心的な働きに応答しそれと協力して、彼を団体的に表現します——ローマ 8:2, 4, 6, 11. エペソ 3:14-21。

©2014 Living Stream Ministry